

講師の先生のご紹介

○佐々木 秀幸 (ささき ひでゆき) 氏 (行政のお立場から)

- ・岩手県 環境生活部 環境担当技監
- ・環境省 災害廃棄物処理支援員 (人材バンク)

※災害廃棄物処理支援員制度

災害廃棄物処理を経験し、知見を有する地方公共団体の人材を「災害廃棄物処理支援員」として登録し、被災地方公共団体の災害廃棄物処理に関するマネジメントの支援を行うことを目的に環境省が制定。

【災害対応の経験】

「東日本大震災」において、災害廃棄物処理詳細計画策定等の総合的な企画・調整、廃棄物量推計、各種処理工程の基本設計、被災市町村への技術的助言、災害廃棄物中の放射性物質の測定方法の開発、広域処理の調整、大学や研究機関等の専門家との連携を行った。

【災害支援の経験】

- ・平成 28 年熊本地震において、現地調査を行うとともに、東日本大震災時の廃棄物量推計方法、災害廃棄物処理事業の制度、処理体制構築及び人員確保等を基に熊本県に助言するとともに、情報交換を実施。
- ・平成 28 年 9 月台風 10 号水害において、岩手県岩泉町で支援を実施。
- ・令和 5 年 7 月 15 日からの大雨災害において、秋田県秋田市で支援を実施。

○石坂 広徳 (いしざか ひろのり) 氏 (現場のお立場から)

- ・有価物回収協業組合 石坂グループ 委託事業部 統括本部長

【災害廃棄物処理の経験】

- ・平成 28 年熊本地震において、二次仮置場所長として約 2 年余り災害廃棄物処理に従事
- ・平成 30 年豪雨災害において、岡山県倉敷市にて約 1 年 8 か月間、災害廃棄物処理を実施
- ・令和 2 年豪雨災害において、熊本県人吉市にて初動時より約 1 年 9 か月間、仮置場所長として従事

【その他】

- ・令和 2 年豪雨災害においては、熊本県人吉市の仮置場で、災害廃棄物の迅速な受入を目指し、「畳のみ」、「家具のみ」といった単一品目での持ち込み車両を優先的に受け付ける「ファストレーン方式」を導入し、搬入路の渋滞解消や滞留時間の短縮を実現。

※参考 災害廃棄物処理方式「人吉モデル」(動画)

https://www.youtube.com/watch?v=yjS_qNSQh18